

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい

記

演題：その後の震災対応：東北大学歯学研究科の取り組み

1. Dental Forensic Identification
2. 歯からの被ばく放射線量測定
3. ゲノムコホート研究

講師：佐々木 啓一 (ささき けいいち) 先生
東北大学大学院歯学研究科
口腔機能形態学講座 口腔システム補綴学分野 教授

日時：平成26年 1月 30日 (木)

17時00分 ~ 18時30分

場所：歯科棟南 4階 特別講堂

講義要旨： 東日本大震災から早や3年が経とうとしている。東北大学歯学研究科は、発災直後からさまざまな震災対応活動を行ってきた。今、現在もこれらの一部は進行中である。今回の講義では、歯学研究科が特に力を入れて取り組んでいる上記3テーマについて紹介する。

第1のテーマは、震災時の犠牲者の身元確認 (DVI: Disaster Victim Identification) で注目を集めた歯科法医学的手法についてであり、東北大学で開発した生前・死後のデータ・マッチング・システム、そして国際標準化について述べる。2番目は、理学研究科とともに開発した内部被ばく量、外部被ばく量の定量測定方法を用いた歯からの被ばく線量測定であり、現在、福島県歯科医師会とともに遂行中である。3番目は東北大学に設置された東北メディカルメガバンクが進めている事業で、歯科を加えた世界初のゲノム・コホートである。

これらは社会的な影響も大きい活動であるが、歯科界で注目されることはほとんどない。今回、学外での初めての紹介であるが、関心を持っていただければ幸いである。

【連絡先】 摂食機能保存学分野 三浦宏之 (岡田大蔵) (内線5521)